

## 助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人ここからプロジェクト  
代表者・役職名 氏名 代表理事 伊藤由宏

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

学習支援活動におけるオンライン環境の充実

### 2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

子ども食堂参加者を含む困窮世帯の小学生～高校生を主な対象とした学習支援を毎週土曜日に開催しています。教室でのマンツーマン学習が原則です。ただ病気などで生徒または先生が休むこともあり、その時は環境が整っている生徒は別日にオンライン授業で振替えをしています。更に最近では生活困窮と不登校が重なっている生徒の入塾もありそうした生徒も教室に出向けないのでリモート授業を行っています。

しかし生徒の中には端末がなかったり、WiFi環境が脆弱であるために休んでもオンライン授業が行うことができない生徒が複数います。そうした生徒たちに端末やポケットWiFiを貸与していきたいと思えます。

### 3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

WiFiを法人として2台リースし2人の生徒に貸与しました。

1台は高校1年生。自宅にWiFiがなく、かつ経済的事情で機器購入を躊躇する家庭。

進学校に入学したため、高1から勉学に励み、学習支援活動開催日に講師が私用で来られない際はZoomを使ったオンラインでの振替授業をすることができました。おかげで前期にはよくなかった成績も後期には校内上位になりました。またダメ元で受けた英検準2級も合格。上位6%に入ることができました。

もう1台は中学3年生。同じく自宅にWiFiがなく、かつ経済的事情で機器購入を躊躇する家庭。

努力家ではあるが、学習成果が出ず焦っていたため活動日以外でもオンラインでのフォローを実施。

プログラミングに興味があったためその方向の工業高校を目指し、見事に第一志望に合格しました。

### 4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

おかげさまで2人の生徒のWiFi環境を整え、起こりうる学力格差をだいぶ防げたのではないかと思います。

ただし現状のままでは経済的事情のある生徒の学習支援を続ける限り、同様にWiFi環境が整わない生徒は毎年のように発生すると思われます。なので行政や学校によるこのような生徒のWiFi環境を整える迅速な対応や通信業界の尽力による困窮世帯への機器無料貸し出しなど、社会の工夫も欠かせないと思えます。

ただコロナ禍3年間での整備速度を見る限り、早期に整備されると展望を持つことは難しいと思えます。

今後も必要である限り当法人は生徒のWiFi環境を整備し続けます

### 5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

